

和光紙器株式会社による地域貢献活動

◆ 会社情報 ◆

- ◇会社名：和光紙器株式会社（鈴鹿事業所）
- ◇所在地：三重県鈴鹿市伊船町 1948-8
- ◇HP：<https://www.wakosiki.co.jp/>



◆ 会社概要 ◆

環境に配慮した包装資材や緩衝材などの開発・製造・販売を主に行っています。本社は埼玉県にあり、1962年に設立、鈴鹿事業所は、元は営業所として2000年に開設されました。SDGsへの取り組みを基に、包装資材において環境に配慮した循環型社会を目指しています。



◆ 活動内容①工場見学 ◆

杉の子特別支援学校からの依頼をきっかけに、2024年、初めて自社の工場見学を実施。杉の子特別支援学校では、これまで他企業での工場見학을何度か断られていましたが、今回、マッチングが成立し、実現しました。実施に向けては、事前に、学校側と会社側で何度か打合せを行い、社内では、危険な場所やものがないか、念入りにチェック。また、生徒に向けて、事前に作品をある程度まで作ってきてもらい、見学の際に完成させ、手土産として持ち帰ってもらったとのこと。当日は、生徒34名、教員25名が参加しました。



◆ 会社理念 ◆

- ・私たちは健全な事業発展を通じて社会に貢献し、企業の社会的責務を果たします。
- ・私たちは地球環境の調和を図り広く社会に貢献します。
- ・私たちの働きで豊かな価値を創出し、より良い社会を作ります。
- ・私たちはCSR活動を通じて社会や環境と共存し、ステークホルダーからの信頼を得られるようにします。



◆ 地域貢献を開始した経緯 ◆

鈴鹿事業所が所在する地域の周辺は、「調整区域」となっており、住居や自治会がありません。そんな中、「地域で商売するなら何かしないと！」という思いを持っていたことから、清掃活動を皮切りに、地域貢献活動が始まりました。



◆ 活動内容②工作教室 ◆

住吉在住の職員が公民館の情報案内からキャッチした情報で、日と場所を確認し、鈴鹿市に連絡。小学4年生以上の子ども30名の参加があり、会社からは、段ボールの仕組みや会社の活動について説明をし、工作の活動を行いました。



◆ 今後の課題と展望 ◆

SDGs目標達成期限に合わせ、少なくとも2030年までの活動の継続を目標としていることです。社員の年齢が上がるにつれてのモチベーションの低下が懸念されますが、無理せず、できることを続けていくことを今後の展望としています。